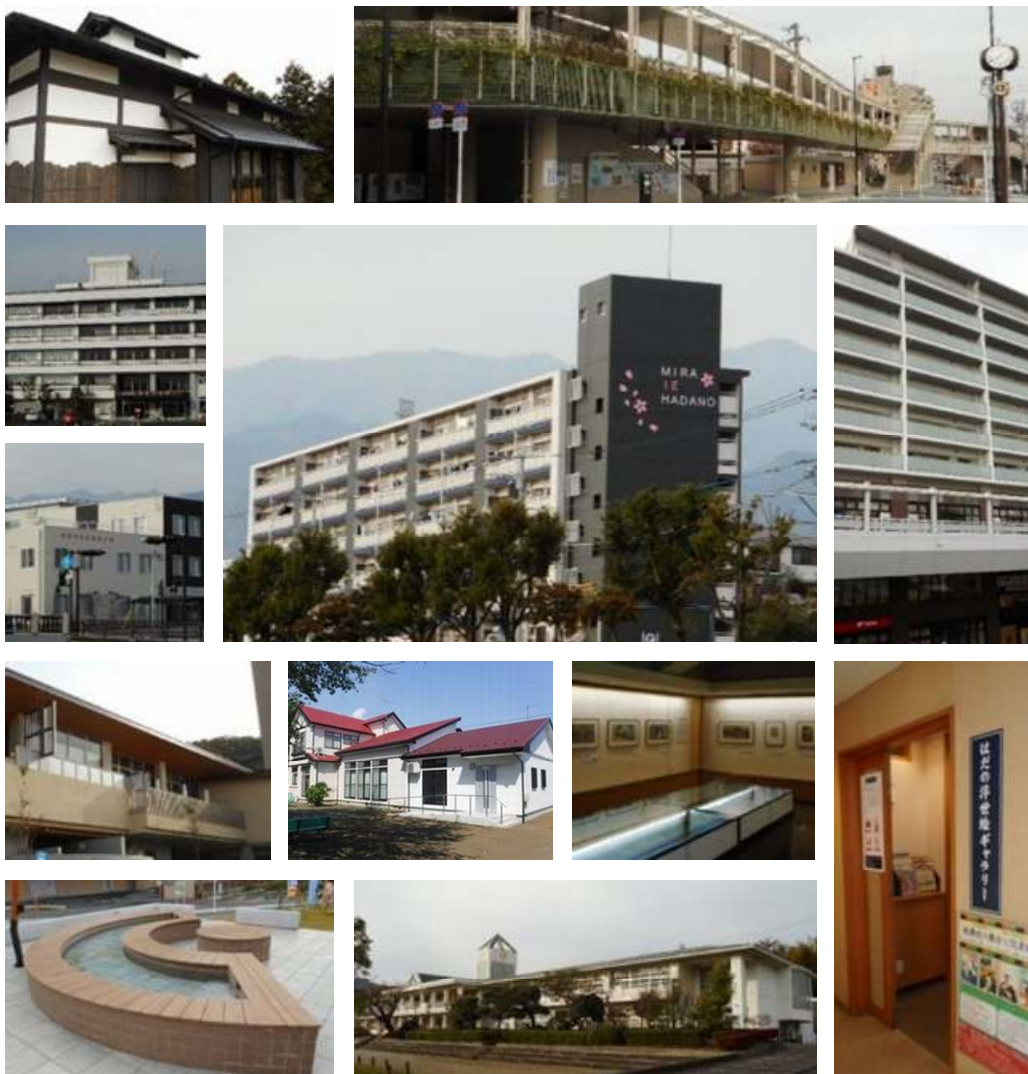


秦野市公共施設白書

— 平成 30 (2018) 年度改訂版 —



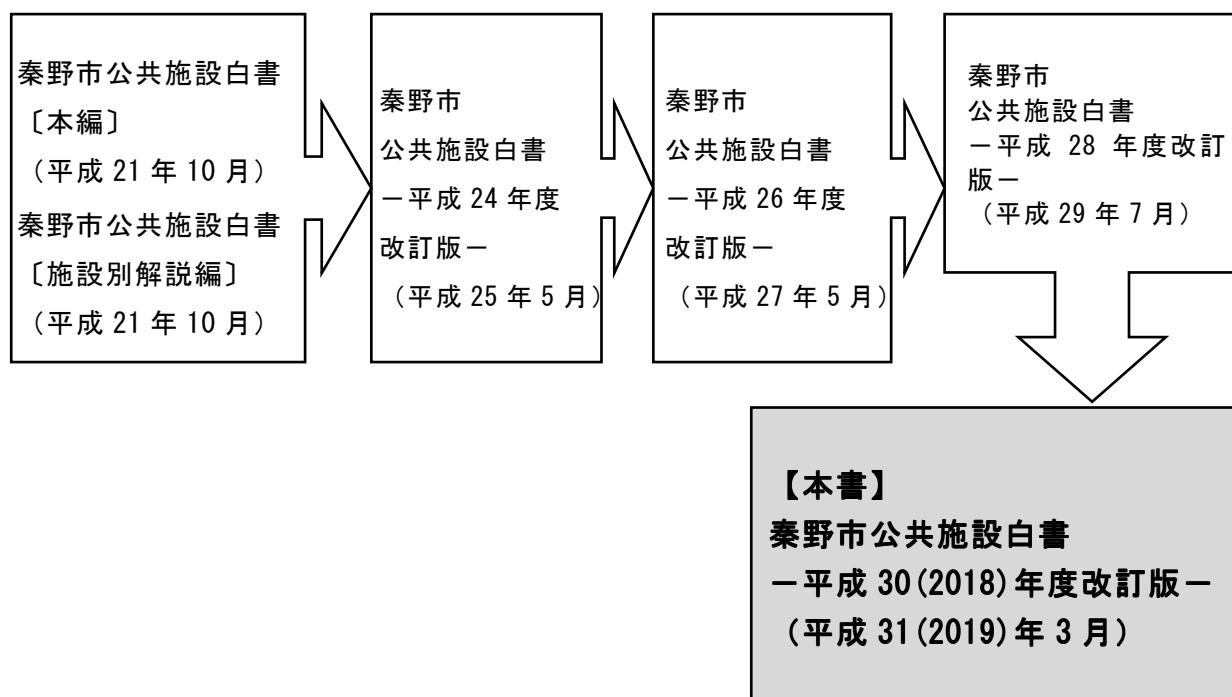
平成 31 (2019) 年 3 月

秦 野 市

秦野市公共施設白書

— 平成 30(2018)年度改訂版 —

公共施設白書のあゆみ



目 次

第1章	公共施設白書について	1
1	公共施設白書の位置付け	3
2	白書で取り上げる公共施設等	3
第2章	秦野市の概要	7
1	位置・面積	9
2	気候	11
3	地形・地質・水系	12
4	沿革	14
5	人口	16
6	財政(平成27年度決算状況等)	22
7	財産	29
8	職員数	31
第3章	公共施設の現状と課題	35
第1節	公共施設の現状	37
1	施設の数と面積	37
2	建物の築年数	41
3	管理運営経費	43
4	土地等を借りている施設	60
5	地区別の公共施設の配置	63
第2節	公共施設の持つ課題	75
1	維持管理費用の負担増	75
2	施設の老朽化	75
3	施設機能の重複	78
4	公共施設使用料の適正化	82
5	計画的な維持補修とコスト削減のための工夫	94
6	一元的な管理運営	94

第4章 施設別の現状と課題	97
第1節 学校教育施設	
第1款 施設全般の現状と課題等	100
第2款 義務教育施設	100
第3款 その他の施設	112
第2節 生涯学習施設	
第1款 施設全般の現状と課題等	117
第2款 公民館等	117
第3款 青少年用施設	130
第4款 文化・芸術施設	149
第5款 スポーツ・健康施設	162
第3節 庁舎等	
第1款 本庁舎等	183
第2款 消防庁舎等	192
第3款 その他の施設	198
第4節 福祉施設	
第1款 保育・子育て支援施設	206
第2款 高齢者用施設	217
第3款 その他の施設	228
第5節 観光・産業振興施設	237
第6節 公営住宅	252
第7節 公園・緑地等	258
第8節 上下水道施設	264
第9節 低・未利用地	273
第5章 公共施設再配置の取組み	275
第1節 公共施設更新問題について	277
1 人口減少と高齢化社会の進展	277
2 建築時期の集中	278
3 老朽化の進展	279
4 既に始まっている高齢化社会	279
5 財政負担の試算	280
6 もう一つの根深い問題	281
7 現実になりつつある更新問題	283
8 まとめ	284
9 秦野市の公共施設更新問題への対応	284

第2節	公共施設の再配置に関する方針と計画の概要	286
1	「公共施設の更新問題」の共有化	286
2	公共施設の再配置に関する方針	286
3	公共施設再配置計画と実施状況	289
第3節	取組みにおける課題	294
1	施設の長寿命化・予防保全	294
2	一元的な管理運営と施設保全	295
3	受益と負担について	295
4	公民連携について	297
5	広域連携の取組	299
6	一人称から二人称、三人称へ	300
第6章	公共施設に関するアンケート結果及び分析結果	301
附属資料	公共施設概要調査結果一覧表（抜粋）	375

本書の作成に当たり用いたデータは、「平成30(2018)年度公共施設概要調査」の結果に加え、各年度の「統計はだの」(秦野市発行)、「歳入歳出決算書及び決算附属資料」(秦野市発行)、「主要な施策の成果と報告書」(秦野市発行)、「県勢要覧」(神奈川県発行)及び県内各市が発行する統計要覧等並びに各施設の管理所管課から提供を受けた資料等から転用したものです。

なお、本書で用いている「管理運営費」とは、公共施設の維持や管理に要する経費だけでなく、その公共施設が設置目的にしたがって存在し、運営していくうえで必要な経費の総額を現したものであり、特段の記載がない限り、「平成30(2018)年度公共施設概要調査」の結果による平成29(2017)年度（平成30(2018)年3月31日時点）の実績値です。

したがって、管理運営に関わる常勤職員の労力等に基づき、平均賃金により算定した人件費を加算していることなどから、各施設の事業費の決算額とは異なります。



再配置推進イメージキャラクター
「丹沢つなぐ君」